

# 2023 年度事業報告書

自 2023 年 4 月 1 日

至 2024 年 3 月 31 日

社会福祉法人 こばと会

## 社会福祉法人こぼと会 2023 年度事業報告

今年度の保育テーマ

～理念の追求(成長する力)～

今年度は、理念の追求に焦点を置いて取り組んできた。理念の行動指針はいわゆるPDCAサイクルをもとに形成されていることをもとに、実践を通してスモールステップを踏みながら、職員自身の成長を後押ししてきた。

特に、大切にしたことは“働きやすい、働き甲斐のある職場”であること。また、それは職員自身が作るものとして位置づけ、それぞれの職員が自分のこととして考え、行動する習慣を身に着けることを理念の追求として表現してきた。

具体的には、朝礼での行動指針の読み合わせに始まり、その内容の振り返りを毎週設けたことである。振り返りを続けたことにより職員の共通認識が深まり、保育そのものについて各職員の信念が深まり、保育において多大な成果が認められるに至った。

令和6年2月に開催された法人研修ではその実践の報告の場として活用し、それぞれの職場の代表者たちが、理念を通じた実践法コックを行い、その内容についてグループワークを行った。各施設だけのものから、法人全体への広がりを意識した活動であり、各施設の刺激にもなりエアたことは大きな成果である。

また、昨年12月に多摩市子育て支援センター内の子育てひろばたまっこの委託事業を受託することができた。今後の展開において非常に重要な位置づけになりえるのと考えている。

今までためてきた保育の実用部分をしっかりと切り取り地域へ発信していく礎としていきたい。

## 1 施設運営

(1) 児童の処遇 2024年3月現在

### ア クラス編成

#### ①【こぼと第一保育園】

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
ポピー組	0歳	3名	9名	
つくし・れんげ組	1歳	4名	20名	
チューリップ マーガレット組	2歳	4名	24名	
ゆり組	3.4歳	2名	21名	
ばら組	3.4歳	2名	27名	
もも組	3.4歳	2名	27名	
カンナ・コスモス組	5歳	2名	36名	

#### ②【あおぞら保育園】

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
ひよこ組	0歳	3名	10名	
りす組	1歳	3名	16名	
うさぎ組	2歳	3名	20名	
ぞう組	3歳	2名	21名	
きりん組	4歳	2名	27名	
らいおん組	5歳	2名	27名	
ぱんだ組	一時 定期	2名	10名定員 10名定員	

#### ③【あおおらぱれっと保育園】

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
組	0歳	2名	6名	
あんず組	1歳	3名	15名	
たんぽぽ組	2歳	3名	18名	
もり組	3歳	2名	22名	
うみ組	4歳	2名	18名	
にじ組	5歳	2名	22名	

#### ④【あおぞらルーム】

クラス名	年齢	保育士数	園児数	備考
	1歳	4名	6名	
	2歳		5名	

## イ 健康管理

健康診断

0歳児 毎月

1歳児～ 年2回（4月、10月）

歯科検診 年1回（6月）

## ウ 保 育

### あおぞら保育園

	評価・反省
0歳	チャレンジに向けて...理念を基にした話し合い→個人個人の課題抽出→振り返り→具体的な報告ができたことでお互いの良いところを認められ、成長への駆け足となった
1歳	笑顔・元気・感謝を基に職員の情報共有を盛んにできた。新人職員へも伝わる身体の体調を気遣いながら一日の振り返り、流れを作ることができた→お互いに感謝の言葉を伝えられた 午睡の考え方も何気ない事柄から発信できるようになっている
2歳	発信する→理念の振り返り→他クラスのも共有できた 環境構成の変化を発信→子どもの行動が変化 子どもの気持ちの言語化→子どもたち自身が言葉の使用頻度が高まった 発信自信が理念の体現に際して前提となると実感→相互作用の良いサイクルのきっかけとなった
3歳	理念の子どもについて長い期間取り組んだことで、感謝の言葉を伝える機会が増え、自然と言葉になった 日々の保育の振り返りが報告会になっていたのがもったいなかった 心理的安全性→子どもがどちらかの職員に頼らなかったという事実がお互いの関係性の良さを表していると感じている
4歳	一丸→集団遊びを取り入れた→いろいろな仲間と協力する課題を出すことで、困った子供に気づける子供が増えた パートさんへの感謝の気持ちがバク上がり→相談、報告が増え関係性が深まった 自分への理解とともに相手への理解が深まった 子どもと同じように感情が深まった 子ども同士で褒め合うことも多かった 理念との結びつきが弱かった
5歳	子どもたちを一人で見る時間長い。最近の発見談→声掛けが多いと気が付いた→子どもに任せる心の余裕→子どもの主体性が上がる 自分が待てることで子どもたちの力が出てくるのを感じている 楽しい！
一時	伝える作業から伝えやすい雰囲気を作るため日常的な会話を積み重ねた 保育についても疑問などについて話しやすい雰囲気づくりにつながった オールパンドの意識でいろいろな関係性を深めていくことを目指せ、利用頻度が増えていく安心感を作ろうとした
給食	行動指針、子どもを1年間繰り返し考えた クラスとのかかわりの中で子どもたちの野菜の名前をよく覚える子が出てきた→喜びが宮川君にも伝わり給食室全員で活動の盛り上げになった 子どもへの食事支援も順調に進み、いつも同じサービスが提供できている
事務所	一人職同士ではあったが、ほかの職種の方にも相談しながら新しいやり方などにチャレンジできた 事務所に入りやすい雰囲気を作るために笑顔

去年度、0歳児クラスで丁寧な育児、一人一人を大切に保育とは何を大切にするのかを考え、「目と目を合わせる」「子どもの気持ちや大人の行動を言語化し伝える」を補助職員とともにメンバー全員で意識して保育を行った。結果、1年後子どもたちの姿はがらりと変わり、大人との信頼関係が素晴らしく、大人が話始めるとどの子どもも目を見て話を聞く体制がとれており、楽しそうに話を聞く姿があった。例を挙げると、1歳児になり今年4月から手洗いをしている。これは画期的で手洗いをやらせたのではなく、1年間大人が手洗いの歌を歌いながら、手を洗う大切さを伝えていったことを見て学び、できるようになっていったのである。今までの経験則からなかなか受け入れられなかった保育者も子どもの姿の変化を体現できたことで、今年度は一つのクラスから0,1,2歳児の乳児クラスへと職員の意識がより強くなっていったと実感することができた。0歳児クラスは、より子どもとコミュニケーションが取れるように、ベビーサインを学び保育に取り入れていた。やっているつもりにならず、より意識していくことが大切であり、逆にそこが難しいのだが、皆で声を出しあい、常にクラスコーディネーターたちが情報を共有していた1年であった。幼児クラスもクラス間で常に話し合いを設け縦の活動を考えていた。心理的安全性が高くなってきていることを実感している。

### 🌸 乳児クラス

今年度、心理的安全性を基にクラス内だけでなく乳児クラス全体で話し合いを重ねる事ができ、職員間の関係性の深まりを感じることができた。

### 🌸 幼児クラス

今年度は、横割りになり異年齢の交流の課題があるため、「縦の関係」を職員間で意識した。具体的には、5歳と3歳で散歩に行く。4歳と2歳で散歩に行く。4歳の当番活動をお手本に3歳児が行う。夕方に3・4歳の合同保育時間を設けるなど、職員同士でアイデアを出し合い、いろいろな事に挑戦した。下の子に優しく接するなど、子どもの変化・成長を見る事ができ、成果があったと感じる。

## こばと第一保育園

・子どもたちが自己肯定感をもち、主体的に活動できることを目標に全職員が意識して保育をしていくために理念をもとに職員、補助職員が相互理解を深め、一つのチームとなってクラス運営をしていけるように連携してきた。幼児、乳児の単位になって連携を深めるための意見交換の場を多く持てたことは、大きな一歩であり、共通理解を深めていく大きな転換点であった。

また、環境評価スケールを定期的に取り入れ、保育内容や環境についての目線合わせや職員間で共有できる機会を増やしていったこともその勢いを助長するものであった。

さらに、人事考課の評価があることが、一人ひとりの職員と向き合う中でお互いの成長につながっていく基準を作ってくれている、保育内容を作るのはあくまで一人一人の職員の間性にかかっている。大きな進展を遂げた一年であった。

## あおぞらぱれっと保育園

理念や保育の基本方針について職員同士が話し合う時間を大切に、質問や疑問に対しリーダー・副主任・主任・園長と職員との間の壁を取り払い、伝えあったり、一緒に考えたりしながら、まずは実践して成功体験を感じられたり、上手くいかなかった時にも次はどうしたらいいかを考え理念への理解を職員みんなで深め合い、仕事を楽しいと思える職場づくりからスタートしようと感が出ていた一年であった。が、この壁を突破することは困難な道筋であったと反省している。

職員との信頼関係構築にまだまだ課題点があり、職員からの意見表出が出てきたことは大きな成果であるが、その先の結果を得られるところにはまだ到達できていない。理念の理解を深める活動がまだ所についた段階ではあるが、一つ費等の課題を整理し、安心、安全な場づくりを求めながら、保育園全体の連携が高まるようにしていくことが来年への課題である。

## あおぞらルーム

少人数制を生かした丁寧な育児行為を徹底してした。

特に、あおぞらやパレットとの連携が重要なことから、日頃より両園との情報交換や人材交流を積極的に行い、子ども、保護者たちが安心して移動できるようサポートすることで、新たな生活の異動もスムーズにできてきた。保護者を巻き込んだ交流の進展が次年度以降の課題となる。担当者も変わることから、地道に内容を精査し、レベルアップを図っていきたい。

また、理念についても実践を通してながらパート職員とも理解を深め、子どもへのアプローチの意味を考えながら進めることができた。

## 地域事業

### あおぞら保育園 一時保育事業実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4時間	29	39	12	7	5	15	21	49	47	8	18	47	297
8時間	59	46	42	35	41	35	48	69	107	103	101	177	863

### あおぞら保育園 定期利用保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
週3半日	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	3
週3一日	1	1	2	2	1	1	1	2	3	4	5	4	27
週4半日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
週4一日	0	1	1	1	2	3	3	4	4	3	3	4	29
週5半日	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
週5一日	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	2	7

### あおぞら保育園 ノーバディーズパーフェクト

令和5年10月より全4回開催で上記の講座を行う。担当職員は保健師の鈴木。

参加者は4名であったが、充実した参加者の関係性構築ができた

## 地域社会との連携

各地域の子育て拠点会議に参加し、関係機関、施設との情報共有を図る。

また、理事長は消防署の防災予防活動の副会長として活動

## 主な行事予定

4月 入園式、保護者懇談会

5月 遠足

6月 お泊まり保育

7月 プール開き

9月 保護者懇談会

10月 運動会、ハロウィン行事

11月 遠足

12月 年長バイキング、子ども会

2月 保護者懇談会、新入園説明会、年長お別れ遠足

3月 卒園式

月例行事 誕生会、

## エ 栄養管理

別紙記入

## オ 安全管理

交通安全教室（各園により実施）

非常災害時の避難訓練 毎月

引き渡し訓練の実施（9月 1日）

## （2）職員の処遇

### ア 職員構成

	園長	主任	副主任	保育士	看護師	栄養士	調理員	事務
こぼと第一保育園	1名	1名	4名	18名	1名	1名	3名	1名
あおぞら保育園	1名		2名	20名	1名	1名	4名	1名
あおぞらバレット保育園	1名	1名	2名	14名	1名	1名	4名	1名
あおぞらルーム	1名		1名	3名				

### イ 健康管理

健康診断 年 1回（4～5月）

細菌検査 年 2回

給食、0歳児調乳担当のみ毎月1回

詳細は別紙記入

### ウ 職員会議

定例会 毎月 1回（研修会議とセット）

行事前打合せ会（随時）

副主任会（随時）

クラスコーディネーター会（随時）

### エ 研修報告

○毎月コンサルティング研修会議を行う

人事考課の定着をベースに評価軸の共通認識をもとに進めてきた。

それぞれの対応ではなく法人基準の浸透が進んできた。

○法人研修会議（可能性コンサルティング主催：法人研修）

○未来検討会議全4回

次世代の職員を対象に今後の法人課題の抽出をしながら、10年後に向けた

アクションを計画した

### オ 退職・福利厚生

○福祉医療機構退職共済制度加入

○東京都社会福祉協議会従事者共済会加入

- 健康検診受診
- インフルエンザ予防接種

## 2 施設管理

### (1) 事務関係

#### ア 会計事務、管理事務

会計管理は、社会福祉サービスセンターと業務提携を結び、毎月の事務管理を協力して行った。労務管理は、多摩労務事務所と業務提携を行い、適宜対応する。

#### イ 児童処遇事務（保育、給食、健康管理）

保育システムを見直しを行いながら作業してきている途中である。（リアクセス）。

### (2) 設備関係

#### ア こばと第一保育園での経年劣化によるウッドデッキ工事

#### イ 安全対策補助金活用による各保育園での見守りカメラ導入

### (3) 備品関係

ア 備品購入に関しては法人としてのマニュアルを作成し、各施設での流れを統一した

### (4) 災害対策

#### ア 避難訓練

毎月1回。必ず消火訓練(実地)を行う。

#### イ 防災設備の点検委託

年2回（内、届け出1回） 富士消防設備に委託

#### ウ 非常食糧の備蓄

○（全児童数+全職員数）×3食×（3日）分